

この説明書をよく読んでから使用してください

ラミュート イヌ AFP

(犬-アルファフェトプロテイン測定用キット)

本キットはラテックス凝集免疫測定法 (Latex Agglutination Immuno-assay) により犬の血清、血漿中の α -フェトプロテイン (AFP) を測定する研究用試薬です。

汎用自動分析装置を利用することによって多数検体の自動測定処理が可能です。

【全般的な注意】

- 本品は犬検体測定用に開発された研究用試薬であり、診断の目的には使用しないでください。また犬検体測定以外の目的には使用しないでください。
- 説明書に記載された用法・用量に従って使用してください。記載された用法・用量以外での使用については、測定結果の信頼性を保証しかねます。
- 使用する機器の添付文書及び取扱説明書をよく読み、記載に従って使用してください。

【形状・構造等（キットの構成）】

- 緩衝液 (R1)
- ラテックス試液 (R2)
(抗ヒト α -フェトプロテイン抗体感作ラテックス試液)

【使用目的】

犬血清または血漿中の α -フェトプロテイン (AFP) 濃度の測定に使用されます。
本品は研究用試薬です。

【測定原理】

1. 測定原理

抗 AFP ポリクローナル抗体を感作したラテックス粒子と検体を反応させると、検体中の AFP とラテックス粒子に感作した抗 AFP ポリクローナル抗体とが反応します。この抗原抗体反応は、AFP 濃度に比例してラテックス粒子が凝集しますので、この凝集の程度を光学的に測定することで、検体中の AFP 濃度を測定します。

2. 特徴

- 短時間で測定可能なラテックス凝集免疫比濁法を測定原理としています。
- 各種汎用自動分析装置への適応が可能です。
- 試液調製が不要です。
- 試料の前処理（試料の希釈）が不要です。

【操作上の注意】

1. 測定試料の取扱い

- 犬血清または血漿を検体として用いてください。
- 不溶物や濁りのある検体は遠心分離等で除去後使用してください。
- 検体を長期に保存する場合は -35°C 以下で凍結保存してください。但し、繰り返しの凍結融解は避けてください。

2. 妨害物質の影響

測定結果の疑わしい検体は検体の希釈を行って、希釈直線性を確認してください。直線性が確認されない場合は、検体中に妨害物質が存在する可能性があります。

【用法・用量（操作方法）】

1. 試液の調製

緩衝液 (R1)、ラテックス試液 (R2) はそのままご使用ください。

2. 測定操作法

[標準的操作法 日本電子 BM6070 の例]

試料 15 μL ※ 主波長 751nm 主波長 751nm

R1 60 μL R2 30 μL 吸光度測定 吸光度測定

↓ ↓ ↑ ↑
0 5 10

(反応温度 : 37°C)

(反応時間 : 分)

※検体 30 μL を生理食塩水 120 μL にて希釈したものを反応試料として 15 μL 使用します。

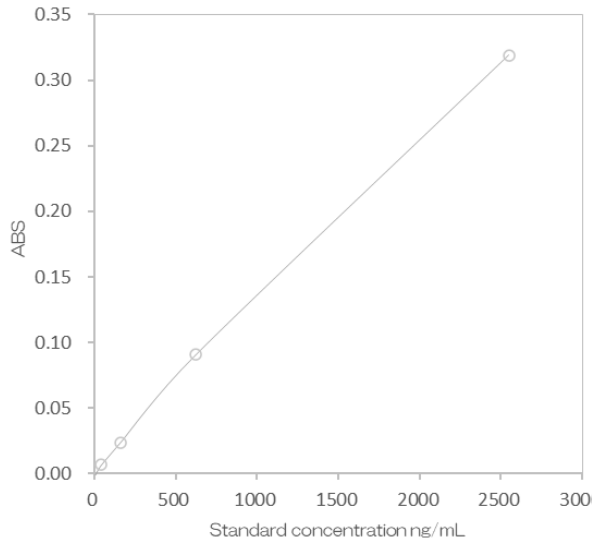
3. 検量線

別売の AFP 標準品を試料とし、上記測定操作法に基づいて測定を行い、多点検量線を作成します。

【性能】

1. 感度

Bio Majesty (日本電子) での標準曲線例を示します。



2. 正確性

既知濃度の検体を測定するとき、測定値は既知濃度の±15%以内を示します。

3. 再現性

同一試料を5回同時に測定するとき、吸光度変化量のC.V値は10%以下です。

4. 測定範囲

本キットの測定範囲は20~2500ng/mLです。

【包装単位】

製品番号：706225

品名	包装
ラミュート イヌ AFP	緩衝液(R1) ……40mL×1 ラテックス試液(R2)…20mL×1

【別売】

製品番号	品名	包装
706232	ラミュート イヌ AFP 用 AFP 標準品	5 濃度×0.5mL×各2本
706249	ラミュート イヌ AFP 用 AFP コントロール	2 濃度×0.3mL×各5本

【お問い合わせ先】

株式会社 シマ研究所 製造1部 動物検査薬担当

〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-36-3

TEL 03(3967)7277

FAX 03(5970)8676

【使用上又は取扱い上の注意】

1. 取扱い上(危険防止)の注意

- (1) 検体には常に感染の危険性が伴うものとして、取扱いには十分注意してください。
- (2) 本品中には防腐剤として0.09(W/V)%アジ化ナトリウムが含有されています。誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合は水で十分に洗い流す等の応急措置を行い、必要があれば医師の手当てを受けてください。

2. 使用上の注意

- (1) 使用期限の切れた試液は使用しないでください。
- (2) 試薬の開封後はなるべく早く使用し、保存する場合は蓋を閉めて凍結を避け、必ず冷蔵(2~10℃)で保存してください。
- (3) 本品中の容器、付属品は他の目的に転用しないでください。
- (4) 緩衝液及びラテックス試液は、測定前に軽く転倒混和した後、所定の位置に正しくセットしてください。泡立っている場合は泡を取り除いてください。
- (5) ロット番号の異なる本品中の構成試薬を組み合わせ使用したり、ロット番号の異なる構成試薬を混ぜ合わせて使用しないでください。
- (6) 検量線は測定ごとに作成してください。また、検量用試料はそれぞれ2回以上測定してください。
- (7) 測定範囲の上限を越える検体は、生理食塩水で希釈した後に再度測定してください。得られた値に希釈倍数を乗じて測定値を算出してください。
- (8) 検量用試料は別売の AFP 標準品を使用してください。なお使用に際しては別売品の説明書を参照してください。
- (9) 測定装置に関する測定パラメータについては【お問合せ先】にご質問ください。

3. 廃棄上の注意

- (1) 本品中には防腐剤として0.09(W/V)%アジ化ナトリウムを含有しています。アジ化ナトリウムは鉛管、銅管と反応して爆発性の強い金属アジドを生成することがありますので、廃棄する場合には大量の水で洗い流してください。
- (2) 試料には感染性微生物が存在することがあるので、使用済みの試料、試薬容器、器具等は滅菌、消毒(0.5%次亜塩素酸ナトリウム溶液)、焼却等で処理してください。
- (3) 試液及び器具などを廃棄する場合には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、水質汚濁防止法等の規定に従って処理してください。

【貯蔵方法・有効期間】

1. 貯蔵方法： 2~10℃（凍結厳禁）
2. 有効期間： 製造後1年
* 使用期限は外装に記載してあります。

製造販売元



株式会社 シマ研究所

〒174-0063 東京都板橋区前野町 3-36-3

TEL : 03-3967-7277